

◆学校だより◆

Obihiro Kashiwa Elementary School



かしわ

開校 大正9（1920）年



帯広市立柏小学校

保護者・地域との

より強い 絆 をめざして

令和7年9月8日 15号

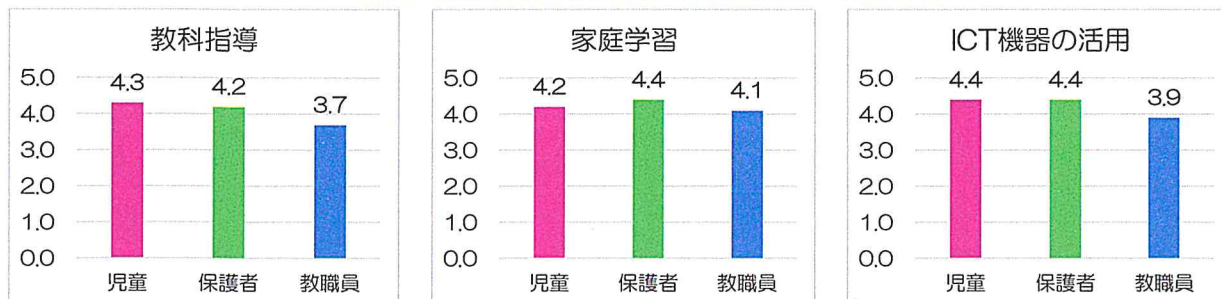
<令和7年度 前期学校評価について> 保護者回収率：79.4%(220/277)

日々の教育活動や学校運営を客観的に振り返り、よりよい学校づくりを目指すことを目的として、児童・保護者・教職員の3者を対象に学校評価を実施しました。前期は前年度後期と比べ、回収率が14.3%上昇しました。今回の結果は、下記のようにになりました。児童の自己肯定感の高さや保護者の皆様の肯定的なとらえ方、教職員がさらに高みを目指す姿がうかがえる項目がありました。

保護者の皆様の貴重なご意見を参考として、子どもたちが意欲的に学校生活を送り、安心して過ごすために、「チーム柏」として学校力向上を目指します。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

令和7年度 前期学校評価および保護者・児童・教職員アンケート

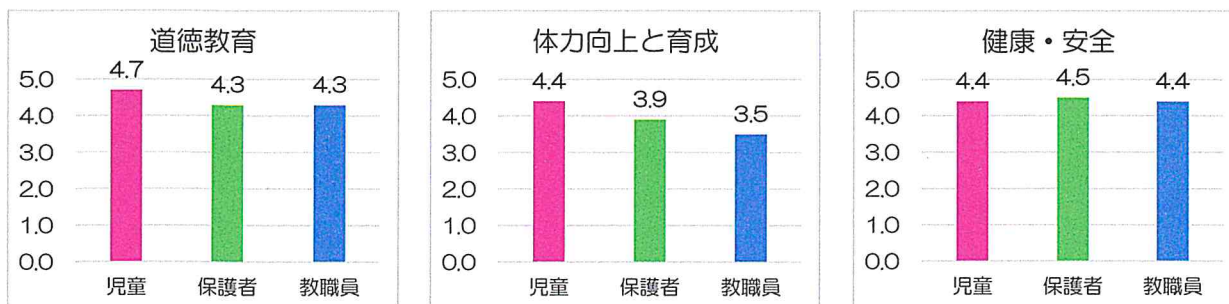
学び・心・体の充実



「教科指導」については、児童・保護者のポイントが前年度と比べ上がりました。教職員のポイントは低めですが、授業をさらに工夫して子どもたちの力を伸ばしたいという想いが表れた評価です。後期も、子どもたちが高い意欲をもって学びに向かったり、学び方を選択したり、学んだことを活かして表現したりする力を伸ばしていけるよう、研修を重ねていきます。

「家庭学習」については、前年度と比べ三者ともポイントが上がりました。子どもたちの実態や発達段階に合わせた宿題の提供、学年毎に統一された家庭学習の手引き、タブレットを効果的に活用した学習などが三者の高評価につながったと考えます。後期も、効果的な家庭学習を通して子どもたちの学びの充実を目指し取り組んでいきます。

「ICT機器の活用」についても、前年度と比べ三者ともポイントが上がりました。子どもたちのICT活用スキルの向上、発達段階に応じたタブレット利用ルールの設定、効果的な使い方の提示などが三者の高評価につながったと考えます。後期も、子どもたちの学びが深まるようICT機器を効果的に活用しながら授業を進めていきます。



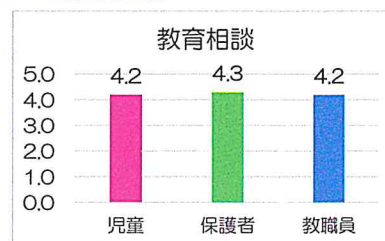
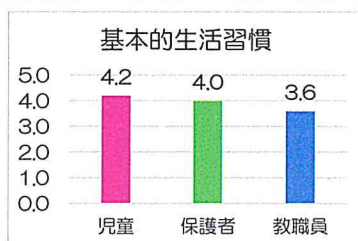
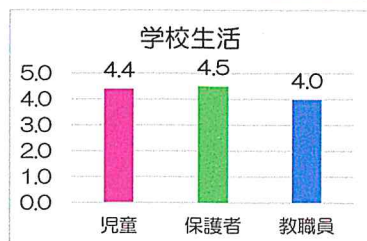
「道徳教育」については、前年度と比べ三者ともポイントが上がりました。学校と家庭が連携した道徳教育の賜物だと考えます。後期も、学校生活の様々な場面を通して、子どもたちがいじめを絶対にしない、してはいけないと感じられるよう指導を続けていきます。また、自分のよさも友達のよさもわかり、自他ともに大切に子どもを育てていきます。

「体力向上と育成」についても、前年度と比べ三者ともポイントは上がりましたが、児童の自己評価と反し、保護者・教職員のポイントが低めでした。後期も、健康な体をつくったり、さまざまな活動の基盤になったりする運動の重要性について積極的に発信するとともに、体を動かす場を増やし体力向上を図っていきます。

「健康・安全」についても、前年度と比べ三者ともポイントが上がりました。健康や安全に関わり、子どもたちの主体性が高いことが要因であると考えます。後期も、自然環境やJアラートなどを考慮した避難訓練や日常的な指導を通し、子どもたちの危機意識を高めるとともに、自他の命を守ることの大切さについて伝えていきます。



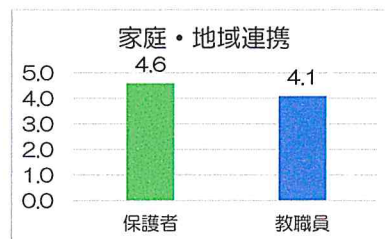
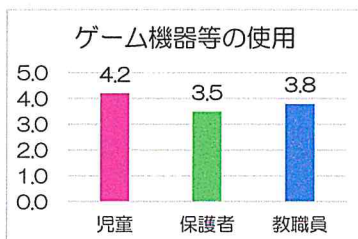
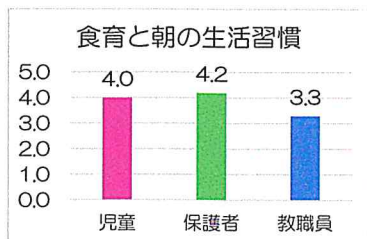
家庭・地域と共にある学校



「学校生活」については、児童・保護者のポイントが前年度と比べ上がりました。教職員のポイントは低めですが、全ての子どもに楽しい学校生活を送ってほしいという想いが表れた評価です。後期も教職員が一丸となり、子どもたちが楽しさや充実感を味わうことができる教育活動に努めていきます。前期と変わらぬご理解とご協力をお願いいたします。

「基本的な生活習慣」についても、児童・保護者のポイントが高かった一方、教職員のポイントは低めでした。自分から進んで挨拶する、廊下を正しく歩く、時間を守る、忘れ物をしないなど、後期も引き続き丁寧な声掛けに努めます。ご家庭でも折に触れてお子さんへの声掛けをよろしくお願いいたします。

「教育相談」については、前年度と比べ三者ともポイントが上がりました。後期も引き続き、子どもたち・保護者の皆様が相談しやすい雰囲気醸成に努め、教育相談の体制を整備していきます。



「食育と朝の生活習慣」については、三者とも前年度とほぼ同じ結果となりました。教職員もおび学の「食育」を活用するなど折にふれて食育や生活習慣の重要性を指導しておりますが、家庭の協力なしでは食習慣や生活習慣は定着しません。後期も、「早寝・早起き・朝ご飯」を合言葉に学校・家庭が協力して子どもたちの「朝のいいリズム」をつくっていただければと考えております。

「ゲーム機器等の使用」については、今回初めて保護者の質問項目を設けました。児童の評価が高かった一方、保護者の評価が低い結果となりました。学校でもタブレットの使用のルールを徹底したり1日の過ごし方について考えたりするなど、生活を見直す活動に努めますが、家庭でもゲーム機器等の使用に関わるルールを、お子さんとしっかりと確認・共有していただければと思います。

「家庭・地域連携」については、保護者のポイントが全ての質問項目の中で一番高い結果となりました。いつも柏小学校の教育活動に対し、温かい見守り・励ましをたくさんくださり、ありがとうございます。後期も引き続き学校と家庭・地域が連携し、子どもたちの成長を支えていきたいと思っております。



保護者の皆様の声

◆学校だよりや学年・学級通信などの配信について◆

前年度より、子どもたちにはGoogleクラスルーム、保護者の皆様には楽メ、地域にはホームページを通して、各種通信を配信しています。また、前年度の反省を踏まえ、今年度は、緊急時の配信以外は定時配信を心掛けております。「時間割を紙で配布してほしい」というご意見もいただいておりますが、＜子どもたちの出欠の有無に関わらず各種通信を届けられる＞、＜印刷にかかる時間が削減できる（働き方改革）＞、＜学校予算が節約できる＞などの理由から、今後も同様の形をとらせていただく予定です。また、この取組により、先日、全児童にタッチペンを購入することができました。ご協力ありがとうございました。

◆タブレット端末の使用の仕方、持ち帰りについて◆

学校では、文科省の「GIGAスクール構想」を受け、5年前よりタブレット端末を使用しています。現状として、子どもたちの学力向上につながる効果的なタブレット活用について日々研修し、試行錯誤を繰り返しているところです。書く活動も大切にしつつ、タブレットのよさを生かし、学習活動がさらに充実するよう努めていきます。また、タブレットの持ち帰りについてですが、家庭での使用場面・頻度が多くなってきていることから、前年度より、学習道具の一つとして毎日持ち帰り、充電して次の日持ってくることを進めております。学校や家庭での使用を繰り返す中で、子どもたちにタブレットの主体的な活用力（必要な場面で、タブレットを学習道具の一つとして選び活用する力）を身に付けさせたいと考えております。一方で、ランドセルの「重さ」の課題は残りますので、教科書・ノートの持ち帰りも含め、学校で検討していきます。

◆その他いただいたご意見について◆

- ・集団下校についてです。緊急時（非常事態時）、子どもたちの一番安全な引き渡しは保護者によるお迎えとなりますが、その必要はないまでも、まとまって帰ることが望ましい場合（天候悪化・積雪・熱中症等）は、集団下校となります。普段から同じ方面に下校するメンバーを把握しておくことは大切であり、実際にまとまって下校し、お互いの安全を守り合うことも大切です。教職員も状況に応じて一緒に下校したり、車による見守りを行ったりします。今後も、子どもたちが安全に下校できるよう取組を進めていきます。
- ・学校での教職員個人のスマートフォン使用についてです。最近、教員の性的な目的でのスマートフォン使用が報道されたところですが、本校でも、この件を受け、2学期より、各種教育活動の様子等は決められたデジカメやタブレットで撮影し、データを外にもち出さない対応をとっております。また、校内の見回り（教室やトイレの点検等）は、日常的に行っております。
- ・学校評価についてです。各家庭でお子さんが複数人いる場合、お子さんによって回答が異なるため、どのように回答するか困惑された方もいると思います。後期に向け、学校評価への取り組み方を明示し、回答に困らないように工夫していきます。

☆ご協力ありがとうございました☆